

\*\*\* 5月号(その2) \*\*\*

5月の半ばになると陽射しも明るさを増し、木々の緑もより鮮やかになります。今回は陸上競技大会・三校交流のグリーン活動のようすを中心にお伝えします。

◆校内陸上競技大会が開かれました

5月14日(火)、雲ひとつない晴天に恵まれ、第4回校内陸上競技大会が県立体育センター陸上競技場を会場として開催されました。4×100Mリレーや、100M、200M、800M、1000M、1500Mなどのトラック競技、走幅跳び、走高跳び、砲丸投げなどのフィールド競技を、クラス対抗で競いました。



生徒の運営委員によって各競技の召集や、トラック競技の計時、得点集計などが行われ、きびきびとした生徒の動きにより、常に予定時間に先んじて日程が進行しました。

今年は、保護者の観覧席も設けられ、多くの声援をいただき、大会を盛り上げる一助となりました。



日頃の体育の授業で記録は担当役員の生徒がその場で入力・集計をしています。大会のハイライトはやはりリレー。応援も力が入ります。

◆演劇入門の特別授業が行われました

昨年度より始まった人気講座「演劇入門」。5月8日(水)午後、3限の授業では担当講師のさわたりちひろ氏率いるさわたり組からゲスト石井桂さんをお迎えし、二人芝居、宮沢賢治原作「セロ弾きのゴーシュ」を上演していただきました。たった二人のお芝居ですが、ゴーシュのもとを訪れるカッコウや子狸など様々な小動物とのやりとりとゴーシュの成長が見事に演じられ、宮沢賢治独特の童話の世界を表現していただきました。



2人の熱演に思わず劇世界に引き込まれます

作品をどう解釈し、どう表現するのか、生徒たちもこの講座を通じて原作者の世界をより深く読み込み、理解し表現していくことを学んでほしいと思います。



◆PTA総会・年次懇談会が開かれました

5月9日(木)、PTA総会、保護者会総会、年次懇談会が開かれました。PTA総会では平成24年度決算、平成25年度事業計画及び予算、そして新役員が承認されました。

続いて年次ごとに行われた懇談会では、担当職員の紹介や、研修旅行・大学入試など年次ごとのテーマについて和やかに懇談が行われました。今年は例年にも増して参加者が多く、開校4年目を迎える藤沢清流高校の教育活動への期待が強く感じられる1日となりました。



1年次

2年次

3年次

◆三校交流でひまわりの苗を植えました

5月16日(木)、大清水小学校、大清水中学校の児童、生徒とともに、三校交流の一環としてひまわりの苗植えを行いました。当日は素晴らしい晴天にめぐまれ、5月7日(火)の三校交流で整備した境川沿いの土手に一本一本丁寧に苗を植えていきました。作業をしながら小・中・高の児童・生徒はすぐに打ち解けあい、楽しそうに苗植えを行いました。活着するまでの間は、毎日担当の生徒が水やりをすることになっています。アジサイの花が終わり盛夏が訪れると、元気に育ったひまわりが大輪の花を咲かせることと思います。



ひまわりの苗は種から小学生が育てました。一つのポットに4~5本の苗があり、一本一本分けて丁寧に植えていきました。

◆ボランティア部がJICAプログラムに参加しました

JICA「世界の笑顔のために」プログラムは、開発途上国で必要とされている、スポーツ、文化、教育、福祉などの関連物品の提供者を日本国内で募集し、JICA(独立行政法人国際協力機構)が派遣中のボランティアを通じ、世界各国へ届けるプログラムです。国際協力への参加を身近に感じ、途上国への貢献を目的に開始されました。

今回ボランティア部では、「なわとび」と「リコーダー」の提供を全校生徒に呼びかけ、多くの生徒の協力を得ることができました。もう使わなくなったけれど思い出の詰まった品、まだまだ使えるもの、それが世界のどこかで笑顔と一緒に再び活躍します。集まった品は5月28日(火)JICAに送付しました。愛着のある大切な品物を提供して下さったみなさん、本当にご協力ありがとうございました。



プログラムに使用したポスター・回収箱



(文責 副校長・勝山)